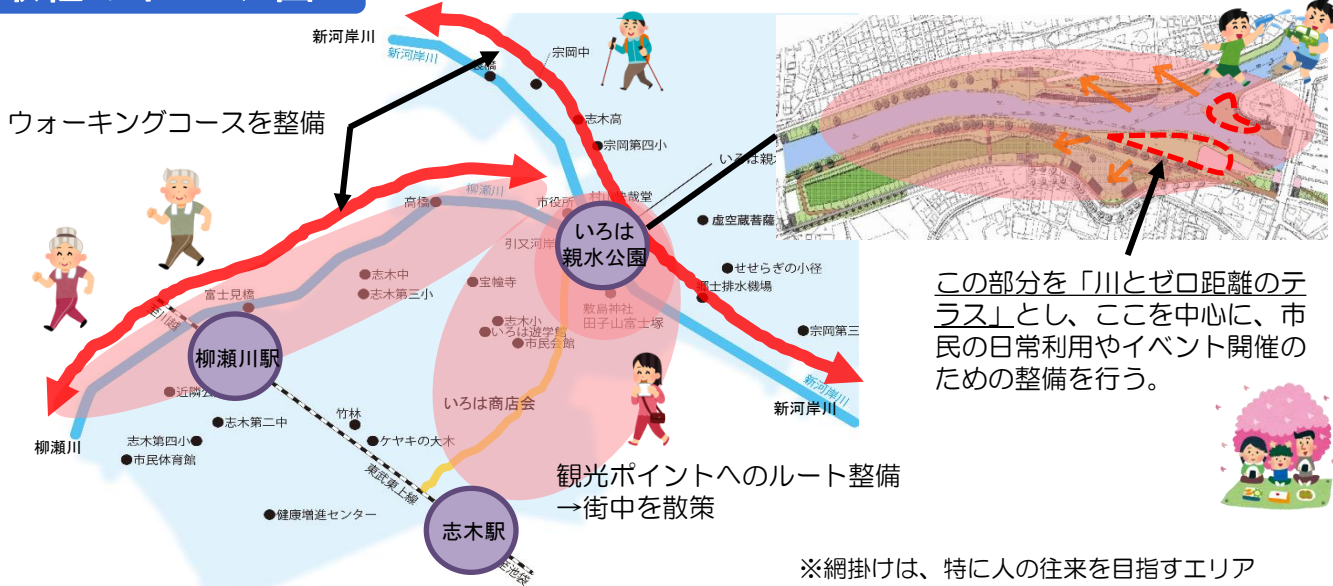


本市には荒川、新河岸川、柳瀬川の三本の川が流れ、さまざまな野鳥が訪れ、小動物の住む自然が残る貴重な場所となっています。志木市将来ビジョンにおいても、自然に触れ合える憩いの場として河川沿いの景観保全に努めるとともに、地域資源を生かした魅力の創造を掲げています。

本提案では、本市の地域資源である水辺を川にふれあえる「川とゼロ距離のテラス」と位置付け、それを中心とした水辺空間を整備することで、次の2つの目標を達成します。

- ・水辺空間周辺の観光ポイントへのルート整備等により、市外から訪れる人にも、季節を感じながら街中を巡ってもらえるきっかけづくりを行います。
- ・水辺空間を活用した「歩いて楽しい」「歩いて気持ち良い」ウォーキングコースを設定し、市民が歩きながら川に親しみ、ウォーキングを通じた健康づくりを推進します。

取組のイメージ図



計画等の位置付け

■志木市将来ビジョン(第五次志木市総合振興計画)・前期実現計画

水と緑にあふれたまちづくりを掲げており、自然とふれあうことができる憩いの場として、河川沿いの景観保全に努め、計画的な公園改修や斜面緑地など民地に残る緑の保全を図りながら、市街地の潤いづくりを推進しています。

■志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略

魅力発信プロジェクトとして、地域資源を生かした観光資源の発掘と活用を積極的に行い、本市の魅力向上に向けた取組を展開しています。

また、市民がいつまでも健康に過ごせるように、スポーツを通じた健康ライフスタイルの支援の構築を図っています。

目標・成果指標

■いろは親水公園のにぎわい創出

・新河岸川と柳瀬川の合流地点に位置する「いろは親水公園」に川に面した「川とゼロ距離のテラス」等を整備し、これを活用したイベント開催や、周辺の観光ポイントを結ぶためのルート整備等により、市内外の人が集まるにぎわいを創出します。

■健康寿命の延伸

・本市が市民の健康づくりを目的として普及に取り組んでいるウォーキングが、楽しく、気持ち良くできる環境を整備することで、市民の健康意識の向上と健康寿命の延伸に繋がります。

| 成果指標 | 現在(H26末時点) | 整備後 |
|--------------------|------------|------------|
| 観光イベント入込客数 | 138,000人/年 | 150,000人/年 |
| いろは健康21プラン推進事業参加者数 | 473人/年 | 3,500人/年 |

位置図



① 柳瀬川の桜並木

③ チョウヨウインハザクラ

② コスモス街道

① いろは親水公園

③ 田子山富士塚

② 旧村山快哉堂

④ いろは樋の大柁

川の状況

- 新河岸川は延長2.5km
(うち改修済み延長2.5km)
- 柳瀬川は延長3.2km
(うち改修済み延長3.0km)

- 活動団体 7団体
(うち川の国応援団の登録 6団体)

■川の特徴

- ・市役所前で新河岸川と柳瀬川が合流している。
- ・新河岸川は桜並木とコスモス街道、柳瀬川にも桜並木が続いている。
- ・川沿いの道はウォーキングや散歩など、市民の健康増進やコミュニティの場となっている。

■過去の事業

- ・水辺再生100プラン
- ・いろは親水公園の整備

まちの状況

■地域資源

- ・本市の中心を流れる新河岸川と柳瀬川、そして東を流れる荒川と3本の川がまちのシンボルともなっており、かつては新河岸川の舟運で栄えた商業都市として発展してきた歴史があります。
- ・新河岸川と柳瀬川には桜並木が続いており、毎年桜の時期になると大変多くの花見客が訪れています。
- ・新河岸川と柳瀬川の合流地点に位置する「いろは親水公園」では、さくらまつり等の各種イベントが開催されており、志木市の魅力発信の起爆剤となるよう、魅力向上に向けた取組を展開しています。

■課題

- ・本市の人口は近年微増傾向にあるが、少子高齢化が進んでおり、高齢者をはじめ、誰もが元気に生きがいを持って住み続けられる環境づくりが求められています。
- ・市内に存在する自然や歴史資源などの地域資源が、都市化の中で埋もれがちな状況にあり有効活用できていません。

市町村が取り組む事業等の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図

【ウォーキングコースの整備】

- ・案内板や距離表示等を整備
- ・歩きやすさの向上



(イメージ)

・街灯の設置



・トイレ改修

・富士下橋ライトアップ



【いろは親水公園及び周辺の整備】



・駅までの動線づくり

・田子山富士塚～いろは親水公園
周辺エリアのルート整備

事業等の概要

ハード

- いろは親水公園及び周辺の整備
 - ・田子山富士塚～いろは親水公園ルート整備
 - ・旧村山快哉堂広場内トイレ改修
 - ・富士下橋等のライトアップ
(→桜のライトアップの時期に合わせて実施)
- ウォーキングコースの整備
 - ・コースに案内板や距離表示等を整備
 - ・街灯の設置 (川沿いや街中)
 - ・舗装等の改修による歩きやすさ向上

ソフト

- いろは親水公園から駅までの動線づくり
- いろは親水公園周辺のにぎわい創出
 - ・さくらまつりの充実
 - ・田子山富士塚関連イベントの開催
 - ・カヌー体験等、川とふれあうイベントの開催
 - ・見ごたえがあり話題になる花等の植栽
- ウォーキングコースの設定、マップの作成
- ウォーキングイベントの開催
- 健康寿命のばしマッスルプロジェクトの拡充
(埼玉県健康長寿埼玉モデル普及促進事業)

工程表・想定事業費

| | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | 想定事業費 |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 案内板等の整備 | | | ● | ● | ● | 132百万円 |
| 田子山富士塚～いろは親水公園のルート整備 | ● | ● | ● | ● | | 24百万円 |
| 旧村山快哉堂広場内トイレ改修 | ● | ● | | | | 10百万円 |
| 富士下橋等のライトアップ | | ● | ● | ● | ● | 20百万円 |

県に実施してほしい整備の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



遊歩道 整備前↓ 整備後(イメージ)↑



遊歩道整備



- ・栄橋スロープ設置
- ・船着き場の整備

- ・高水敷の整備
- ・いろは橋スロープ設置



高水敷 整備前↓ 整備後(イメージ)↑



船着き場(イメージ)

実施してほしい整備概要

■いろは親水公園を「川とゼロ距離の水辺空間」にするための整備

- ・いろは橋下流左岸の高水敷の整備(「川とゼロ距離のテラス」等を整備)
- ・いろは橋下流右岸に船着き場の整備
- ・新河岸川に架かるいろは橋上流右岸付近にスロープを設置
- ・柳瀬川に架かる栄橋下流右岸にスロープを設置

■楽しく、気持ち良いウォーキングができるコースとするための整備

- ・新河岸川(富士下橋～宮戸橋)、柳瀬川(高橋～志木大橋)の堤防上の遊歩道整備
- ・新河岸川(袋橋)、柳瀬川(高橋、富士見橋、東武鉄道鉄橋、志木大橋)に架かる橋のアンダーパス及びスロープ整備

工程表・想定事業費

| | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | 想定事業費 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 計画策定 | | ● | — | ● | | — |
| ウォーキングコース整備 | | ● | — | ● | | 180百万円 |
| いろは親水公園周辺の整備 | | ● | — | ● | | 100百万円 |